

決算審査特別委員会締めくくり質疑者一覧表

質疑日	令和元年 10 月 16 日 (水)			質疑方式	分割方式		
質疑順位	1	会派名	自由民主党浜松	議席番号	32	氏名	高林 修
項目 (款・項等)	内 容						答弁者の職名
1 市役所組織と職員について	<p>第三次定員適正化計画は令和2年度で終了となる。平成17年度の定数6439人が令和2年度には5091人となり、正規職員1348人が定数減となる。平成30年度職員数は5251人となった。また、その間組織改編も幾度となく行われた。教育委員会でも職員の多忙化や確保に課題がある。</p> <p>そこで、以下3点伺う。</p> <p>(1) 職員定数・残業時間とストレスチェック・長期病休者の相関と分析、対策を伺う。</p> <p>(2) 技術職等専門職確保と配置の評価を伺う。</p> <p>(3) 市民のニーズを満たす組織体制であったのか評価を伺う。</p>						川嶋総務部長 " 鈴木副市長
2 平成30年度の予算編成と決算について	<p>(1) 不用額から、予算編成時の「見込み」の精度の評価を伺う。</p> <p>(2) 道路関係費についての予算編成と執行の評価を伺う。</p> <p>(3) 学校施設修繕についての評価を伺う。また、三ヶ日中学校グラウンド整備問題の原因と予算編成との関係を伺う。</p> <p>(4) 決算から財政の総括を伺う。</p>						森本財務部長 " " 長田副市長
3 平成30年度決算の総括について	<p>平成30年度の決算の総括を伺う。また、民生費、教育費、土木費についての総括もあわせて伺う。</p>						鈴木市長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

(締めくくり質疑)

質疑日	令和元年 10 月 16 日 (水)		質疑方式	分割方式			
質疑順位	2	会派名	公明党	議席番号	33	氏名	松下 正行
項目 (款・項等)	内 容						答弁者の職名
1 教育費 小学校 費 小学校教職員管 理費 中学校費 中 学校教職員管理費	人事管理事業で小・中学校の両方とも不用額が多いが 内訳と理由を伺う。						伊熊学校教育 部長
2 総務費 総務管 理費 アセットマ ネジメント推進費	指定管理者制度は、さまざまな施設に導入されている が、一部の団体が集中して運営しているように見受けら れ、疑問を覚える。公共施設は活性化を図らなければな らないことから、民間団体がより多く指定管理者制度に 参入できるよう、制度の見直しや情報の周知徹底ができ ないか、また平成30年度の検討状況と考えを伺う。						森本財務部長
3 商工費 観光シ ティプロモーショ ン振興費	本市には、7観光協会が存在し、市はそれぞれに助成 し、平成30年度も1817万2000円助成している。しかし、 個別に補助金を支出することに、非効率であると感じて ならない。補助金を効率よく支出していくためにも、観 光協会の統合を市として働きかけるべきであったと考 えるがどう対応したか伺う。						石坂観光・ブ ランド振興担 当部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

質疑日	令和元年 10 月 16 日 (水)		質疑方式	分割方式			
質疑順位	3	会派名	創造浜松	議席番号	36	氏名	関 イチロー
項目 (款・項等)	内 容						答弁者の職名
1 平成 30 年度の財政について	<p>平成30年度の事業に関し数点の指摘事項・附帯意見はあるものの、市政運営についてはおおむね評価をするものである。</p> <p>しかし、市政運営は本市のみで存在するものではなく、国の動向のみならず世界情勢にも気を配り勘案しなければならない時世である。特に財政運営に関してはその影響が顕著であり、細心の注意を払い注視をする必要がある。</p> <p>平成30年度の決算状況はおおむね良好な状況であり、それによる財政指標も財務書類、健全化判断比率も評価できる状況である。ただ一点、監査委員の審査意見書にあるとおり、普通会計における経常収支比率は前年に比し1.8ポイント改善したとはいえ89.8%で、財政の硬直度は依然高い水準にある。そこで以下2点伺う。</p> <p>(1) 経常収支比率の改善の背景と評価について伺う。</p> <p>(2) 今後扶助費などが増加する中で容易なことではないとは思いますが、予断を許さない将来が予想される中で財政構造の弾力性を得る基準を目指すことは重要と考える。そこで、どのような点に留意し運営をしてきたのか、また市債との関連についても伺う。</p>						鈴木市長
2 <新規>事業承継支援事業について	<p>今後10年間で70歳を超える中小企業経営者は、全国で245万人、うち半数の127万人が後継者未定としている。それにより650万人の雇用と22兆円のGDPが失われると試算されている。一方、平成29年度に本市商工会議所が行った事業承継実態調査では、60歳以上の経営者で後継者を決めていないとの回答が66.3%、うち12.9%が廃業を予定し、その約1/3が5年以内と回答をしている。その数は実に約3300社が廃業する可能性があることになる。</p> <p>本市産業の根幹をなす中小企業の事業承継を支援することは、本市の持続可能性についても大きな影響を持つことから、以下2点伺う。</p> <p>(1) 事業承継の課題については以前から指摘されており、事業承継には時間がかかることも考えれば待ったなしの状況であるが、どのような方針で臨んだのか伺う。</p> <p>(2) 事業の成果と評価について伺う。</p>						渡瀬産業部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

項 目 (款・項等)	内 容	答弁者の職名
<p>3 負担金交付団体 (特に浜松市社会福祉協議会及びシルバー人材センター) について</p>	<p>本市からは、毎年様々な団体に負担金・交付金・補助金が交付されている。</p> <p>本市の福祉事業及び高齢者の雇用事業を担っている浜松市社会福祉協議会とシルバー人材センターは、それぞれの分野において非常に重要で中核的な団体であり、本市から毎年巨額の負担金等が交付されている。そこで、以下2点伺う。</p> <p>(1) この2団体の全体事業費と市からの負担金等の総額について伺う。</p> <p>(2) 負担金等に対する使途の確認及び必要な指摘・指導がどのように行われているのかについて伺う。</p>	<p>朝月健康福祉部長</p>

(締めくくり質疑)

質疑日	令和元年 10 月 16 日 (水)		質疑方式	一括方式			
質疑順位	4	会派名	日本共産党浜松市議団	議席番号	10	氏名	北島 定
項目 (款・項等)	内 容						答弁者の職名
1 総合戦略について	<p>施政方針では、「平成30年度の都市経営の基本的考え方」が示されており、新たな時代を拓く覚悟と気概を持って、総合戦略の推進に全力で取り組むとしている。</p> <p>総合戦略に掲げられた「若者がチャレンジできるまち」「子育て世代を全力で応援するまち」「持続可能で創造性あふれるまち」の3つの基本目標に対する取り組みと課題をどう総括しているのか伺う。</p>						鈴木市長
2 「浜松市の財政のすがた」について	<p>平成30年度「浜松市の財政のすがた」から見る各財政指標に対する総括はどうか伺う。</p>						鈴木市長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

質疑日	令和元年 10 月 16 日 (水)		質疑方式	分割方式			
質疑順位	5	会派名	浜松市政向上委員会	議席番号	2	氏名	鈴木 恵
項目 (款・項等)	内 容						答弁者の職名
1 市職員について	<p>(1) 市職員の男女比について</p> <p>ア 平成30年度における職員採用試験の受験者の男女比、採用者の男女比について伺う。</p> <p>イ 50歳代の職員について、男女比及び管理職の男女比について伺う。</p> <p>(2) 男性職員の育児休業取得者数と取得率を伺う。また、国の目標として2020年までに13%となっているが、取得推進策として、どのようなことをしてきたのか伺う。</p>						川嶋総務部長
2 昨年の台風24号による被害への対応について	<p>(1) 昨年の台風24号による被害への対応についての総括を伺う。また、自主防災隊からの情報収集、自主防災隊への活動要請はできていたのか伺う。</p> <p>(2) 情報収集について</p> <p>ア 農業者や企業からの情報収集はどのようにしたのか、また、課題は何か伺う。</p> <p>イ 福祉施設・事業所からの情報収集はスムーズにできたか、また、課題は何か伺う。</p> <p>(3) 福祉施設(直営、指定管理、民間)の備蓄、BCP(事業継続計画)の状況はどのようにになっているか伺う。</p>						官城危機管理監 渡瀬産業部長 朝月健康福祉部長 〃

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。